

使用説明書

〈ドライバーインストールガイド〉

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

1. はじめに

お使いの環境にソフトウェアをインストールする.....	3
CD-ROM 収録ソフトウェア.....	5
プリンタードライバー.....	5
TWAIN ドライバー.....	7
PC FAX ドライバー.....	7
Mac OS X でお使いの方へ.....	9

2. プリンタードライバーをインストールする

接続方法を確認する.....	11
ネットワーク接続で使用する.....	11
ローカル接続で使用する.....	12
おすすめインストールでインストールする.....	13
ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする.....	15
ポートを指定してインストールする.....	15
Windows プリントサーバーを使用する.....	23
ローカル接続環境でプリンタードライバーをインストールする.....	25
USB で接続する.....	25
パラレルで接続する.....	28
Bluetooth で接続する.....	28
オプション構成や用紙の設定をする.....	31
双向通信を有効にする.....	31
手動でオプション構成や用紙を設定する.....	31
PageMaker 用 PPD ファイルをインストールする.....	34
PageMaker 用 PPD ファイルを選択する.....	34
HDI ドライバーをインストールする.....	36

3. スキャナードライバーをインストールする

TWAIN ドライバーをインストールする.....	39
TWAIN 対応アプリケーションをインストールする.....	39

4. FAX ドライバーをインストールする

PC FAX ドライバーをインストールする.....	41
プリンタードライバーと同じポートを指定する.....	41
ポートを指定して PC FAX ドライバーをインストールする.....	42
誤送信を防止する機能を有効にする.....	44

設定ファイルを編集する.....	44
[プリンターの追加] で PC FAX ドライバーをインストールする.....	45
PC FAX ドライバーのプロパティを設定する.....	46
印刷設定をする.....	46
オプション構成を設定する.....	47
5. 困ったときは	
インストールに失敗したとき.....	51
USB 接続がうまくいかないとき.....	53
6. Mac OS X にプリンタードライバーをインストールする	
PPD ファイルをインストールする.....	55
プリンターを登録する.....	57
Mac OS X 10.2.x～10.3.x.....	57
Mac OS X 10.4.x～10.7.x.....	58
AppleTalk を有効にする.....	59
オプション構成を設定する.....	60
7. 付録	
ドライバーを更新・削除する.....	63
ドライバーを更新する.....	63
ドライバーを削除する.....	64
商標.....	67
索引	69

1. はじめに

付属の CD-ROM に収録されているソフトウェアについて説明します。

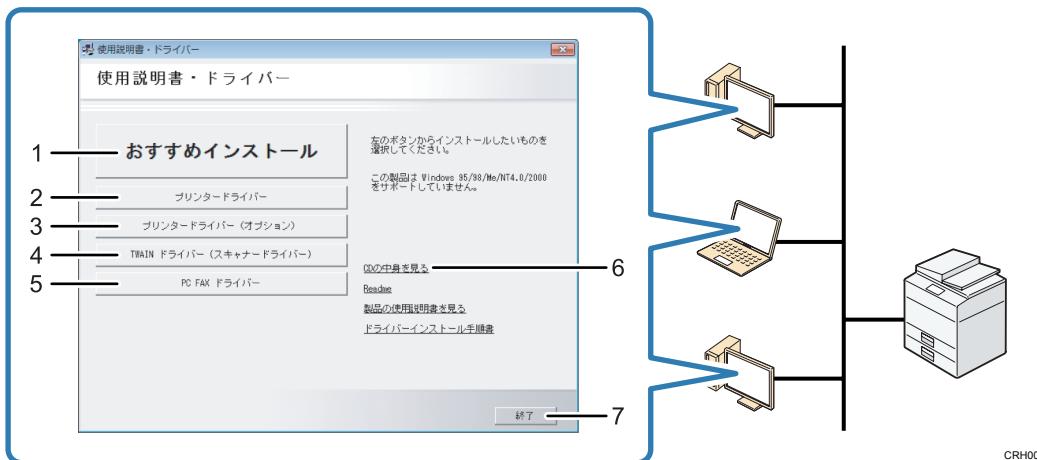
1

お使いの環境にソフトウェアをインストールする

本機とコンピューターを接続し、プリンターやスキャナー機能を使うには、付属の CD-ROM から各種ソフトウェアをインストールする必要があります。

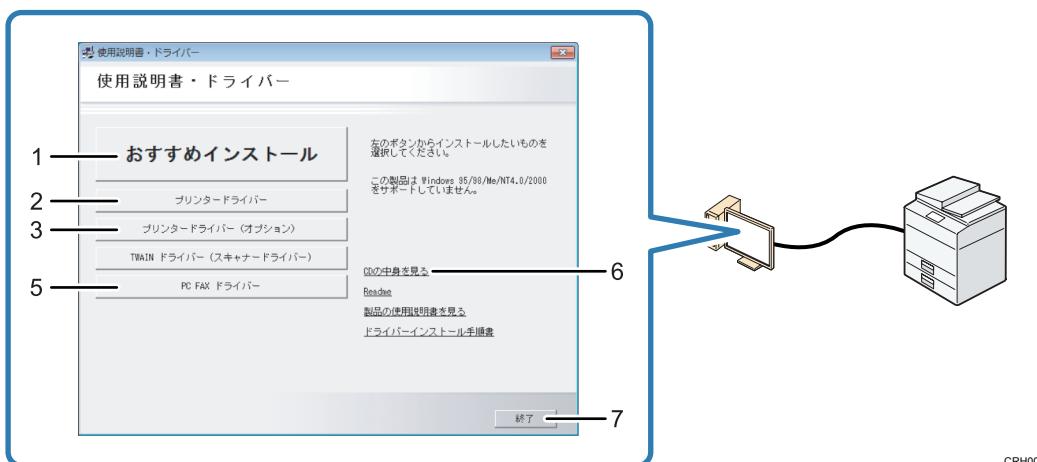
付属の CD-ROM をお使いのコンピューターにセットすると、インストーラーが自動的に起動（オートラン）し、各種ソフトウェアのインストールを行うことができます。

ネットワーク接続の場合



CRH001

ローカル接続の場合



CRH002

1. おすすめインストール

本機との接続設定と RPCS プリンタードライバーのインストールを一括で行います。

詳しくは、P.13 「おすすめインストールでインストールする」を参照してください。

1

2. プリンタードライバー

RPCS プリンタードライバー、RP-GL/2 プリンタードライバーをインストールします。

詳しくは、P.15 「ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする」または P.25 「ローカル接続環境でプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

3. プリンタードライバー（オプション）

オプションの PostScript® 3™ プリンタードライバーをインストールします。

詳しくは、P.15 「ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする」または P.25 「ローカル接続環境でプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

4. TWAIN ドライバー（スキャナードライバー）

TWAIN 対応のアプリケーションから直接画像を読み込める TWAIN ドライバー（スキャナードライバー）をインストールします。

詳しくは、P.39 「TWAIN ドライバーをインストールする」を参照してください。

5. PC FAX ドライバー

あて先を指定するだけで直接ファクス送信ができ、作業効率向上とペーパーレスが実現できる PC FAX ドライバー、あて先表編集ツール、送付状エディターをまとめてインストールします。

詳しくは、P.41 「PC FAX ドライバーをインストールする」を参照してください。

6. CD の中身を見る

エクスプローラを起動し、CD-ROM のフォルダー構成が表示されます。

7. 終了

インストーラーを終了します。

↓ 補足

- オートランプログラムを使用してインストールするときは、管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。アクセス権の詳細については、Windows のヘルプを参照してください。
- OS の設定によっては、オートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Setup.exe」を起動してください。
- オートランを無効にしたいときは、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットし、クライアントコンピューターが CD-ROM をアクセスし終わるまで Shift キーを押したままにします。

CD-ROM 収録ソフトウェア

付属の CD-ROM 「使用説明書・ドライバー&ユーティリティー」に収録されているドライバーやソフトウェアについて説明します。

↓ 補足

- 対象 OS についての最新情報は、DRIVERS フォルダ内の「Readme.txt」ファイルを参照してください。
- Windows ターミナルサービス、Citrix Presentation Server、および Citrix Xen App についての最新情報は、販売店にご確認ください。

プリンタードライバー

プリンターから印刷するのに必要なドライバーです。以下のプリンタードライバーやソフトウェアは付属の CD-ROM に収録されています。

★ 重要

- PostScript 3 のプリンタードライバーを使って印刷するには、オプションの PS3 カードが本機に必要です。

OS	プリンター言語		
	RPCS	RP-GL/2	PostScript 3
Windows XP *1 *6	○	○	○
Windows Vista *2 *6	○	○	○
Windows 7 *3 *6	○	○	○
Windows Server 2003 *4 *6	○	○	○
Windows Server 2008 *5 *6	○	○	○
Mac OS X *7	-	-	○

*1 Windows XP Professional Edition / Home Edition

*2 Windows Vista Ultimate / Enterprise / Business / Home Premium / Home Basic

*3 Windows 7 Home Premium / Professional / Ultimate / Enterprise

*4 Windows Server 2003 Standard Edition / Enterprise Edition、Windows Server 2003 R2 Standard Edition / Enterprise Edition

*5 Windows Server 2008 Standard / Enterprise、Windows Server 2008 R2 Standard / Enterprise

*6 32/64bit の Windows OS に対応しています。

*7 Mac OS X 10.2～10.7 に対応しています。

RPCS ドライバー

高度なグラフィックス処理を可能にし、Windows 環境に最適化されたプリンタードライバーです。多彩な機能とシンプルな操作性を提供します。

1

RP-GL/2 ドライバー（CAD 用）

- RP-GL/2 モードを利用して印刷を行うためのプリンタードライバーです。本ドライバーは CAD アプリケーションでの使用を目的としており、ワードプロセッサーや表計算、フォトレタッチ、ドローイング系などのアプリケーションでは使用できません。
- RP-GL/2 ドライバーは、ドライバーでの設定が操作部の設定よりも優先されます。
- CAD アプリケーション独自のドライバーを使用する場合は、操作部で印刷条件を設定してください。印刷条件の設定方法については、『RP-GL/2&RTIFF』「印刷条件を設定する」を参照してください。

HDI ドライバー（CAD 用）

- HDI ドライバーは、CAD アプリケーションソフト AutoCAD シリーズで作成した図面ファイルを印刷するための専用ドライバーです。HDI ドライバーを使用すると、出力時に作成されるデータ量が減少し、高速に出力できます。
- HDI ドライバーは AutoCAD アプリケーションが起動している環境での使用を前提としています。事前に AutoCAD シリーズがインストールされている必要があります。
- 対応 AutoCAD アプリケーション

AutoCAD 2004、AutoCAD LT 2004、AutoCAD 2005、AutoCAD LT 2005、AutoCAD 2006、AutoCAD LT 2006、AutoCAD 2007、AutoCAD LT 2007、AutoCAD 2008 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2008、AutoCAD 2009 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2009 (32bit/64bit)、AutoCAD 2010 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2010 (32bit/64bit)、AutoCAD 2011 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2011 (32bit/64bit)、AutoCAD 2012 (32bit/64bit)、AutoCAD LT 2012 (32bit/64bit)

PostScript 3 ドライバー

- 本ドライバーを使用すると、プリンターを PostScript プリンターとして使用することができます。Windows OS 用と Mac OS X 用のドライバーを用意しています。
- Mac OS X 用の PostScript 3 ドライバーは、QuickDrawGX には対応していません。QuickDrawGX の機能を外してお使いください。

補足

- プリンタードライバーのインストール方法については、P.15 「ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする」、P.25 「ローカル接続環境でプリンタードライバーをインストールする」、P.36 「HDI ドライバーをインストールする」を参照してください。

- お使いのコンピューターの Windows OS が、32bit または 64bit のどちらなのかを確認する方法については、Microsoft のホームページを参照してください。

TWAIN ドライバー

1

スキャナーから原稿を読み取るために必要なドライバーです。本機をネットワーク TWAIN スキャナーとして利用するためには、必ずインストールする必要があります。

格納場所

X86\DRIVERS\TWAIN

動作環境

- パソコン

対象 OS が問題なく動作する、PC/AT 互換機

- 対象 OS *1

Microsoft Windows XP/Vista/7 日本語版

Microsoft Windows Server 2003/2003 R2/2008 R2 日本語版

*1 本 TWAIN ドライバーは、32bit 版ドライバーです。64bit の Windows OS でも使用可能ですが、64bit アプリケーションでは使用できません。

▼ 補足

- TWAIN ドライバーのインストール方法については、P.39 「TWAIN ドライバーをインストールする」を参照してください。
- お使いのコンピューターの Windows OS が、32bit または 64bit のどちらなのかを確認する方法については、Microsoft のホームページを参照してください。

PC FAX ドライバー

PC ファクス機能を使用するためのドライバーです。クライアント PC のアプリケーションから直接的にファクス送信ができます。

格納場所

- Windows 32bit 版

X86\DRIVERS\PCFAX\XP_VISTA\DISK1

- Windows 64bit 版

X64\DRIVERS\PCFAX\X64\DISK1

動作環境

- パソコン

対象 OS が問題なく動作する、PC/AT 互換機、NEC PC-9821 シリーズ

• 対象 OS

Microsoft Windows XP/Vista/7 日本語版

Microsoft Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 日本語版

1

↓ 補足

- PC FAX ドライバーのインストール方法については、P.41 「PC FAX ドライバーをインストールする」 を参照してください。
- お使いのコンピューターの Windows OS が、32bit または 64bit のどちらなのかを確認する方法については、Microsoft のホームページを参照してください。

Mac OS X でお使いの方へ

Mac OS X 環境では本機の各機能において、以下の制約があります。

- スキャナー機能では、TWAIN ドライバーは使用できません。
- ファクス機能では、PC FAX ドライバーは使用できません。
- プリンター機能では、Mac OS X 用の PostScript 3 プリンタードライバーを使用します。詳しくは、P.55 「Mac OS X にプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

 **補足**

- Mac OS X 環境と本機を AppleTalk プロトコルで接続する場合は、本機の AppleTalk プロトコルを有効に設定します（工場出荷時は無効です）。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「インターフェース設定」を参照してください。

2. プリンタードライバーをインストールする

プリンタードライバーのインストールについて説明します。

接続方法を確認する

2

本機は、ネットワーク接続またはローカル接続ができます。プリンタードライバーをインストールする前に、本機をどのように接続したかを確認してください。

ご使用の接続方法でのインストール方法を参照し、プリンタードライバーをインストールしてください。

ネットワーク接続で使用する

ネットワーク接続では、Windows の印刷ポートを使用して本機へダイレクト印刷（Peer-to-Peer ネットワーク）、またはサーバーを使用してクライアントから印刷するネットワークプリンターとして本機を使用します。

Windows の印刷ポートを使用する

ご使用の Windows によって使用できるポートが異なります。インターフェースは、イーサネットまたは無線 LAN を使用します。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合

接続方法	使用できるポート
• イーサネット • 無線 LAN	• Standard TCP/IP ポート（IPv4 環境でのみ使用可） • IPP ポート • LPR ポート • Network Monitor for Client ポート（TCP/IP、IPP）

Windows Vista/7、Windows Server 2008/2008 R2 の場合

接続方法	使用できるポート
• イーサネット • 無線 LAN	• Standard TCP/IP ポート • IPP ポート • LPR ポート • WSD ポート • Network Monitor for Client ポート（TCP/IP、IPP）

↓ 補足

- ポートを指定してドライバーをインストールする方法については、P.15 「ポートを指定してインストールする」を参照してください。

プリントサーバーを使用する

2

本機は Windows プリントサーバーを、ネットワークプリンターとして使用できます。

クライアントの OS	使用できるサーバー
<ul style="list-style-type: none">• Windows XP• Windows Vista• Windows 7• Windows Server 2003/2003 R2• Windows Server 2008/2008 R2	<ul style="list-style-type: none">• Windows XP プリントサーバー• Windows Vista プリントサーバー• Windows 7 プリントサーバー• Windows Server 2003/2003 R2 プリントサーバー• Windows Server 2008/2008 R2 プリントサーバー

↓ 補足

- プリントサーバーを使用したドライバーのインストール方法については、P.23 「Windows プリントサーバーを使用する」を参照してください。

ローカル接続で使用する

ローカル接続には、USB 接続、パラレル接続、Bluetooth 接続があります。

↓ 補足

- 接続環境に沿ったドライバーのインストール方法については、P.25 「ローカル接続環境でプリンタードライバーをインストールする」を参照してください。

おすすめインストールでインストールする

「おすすめインストール」は、プリンタードライバーのインストールと、本機への接続が簡単に設定できます。本機がTCP/IPを使用しているネットワークに接続されていて、IPアドレスが設定されていれば、RPCS プリンタードライバーのインストールとポートの設定を一括で行うので、とても便利です。(ポートは Standard TCP/IP ポートが設定されます)

2

★重要

- ・本機をパラレル接続で使用する場合、おすすめインストールでプリンタードライバーをインストールするには以下の条件が必要です。
 - ・お使いのパソコンが双方向通信に対応している。
 - ・本機とパソコンが双方向通信に対応しているパラレルケーブルで接続されている
- 双方向通信の条件、設定については、P.31 「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。
- ・管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。
3. [おすすめインストール] をクリックします。
4. ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
5. おすすめインストールをする機種を選択します。

ネットワーク接続の場合、[接続先] に IP アドレスが表示されているプリンターを選択します。

6. [インストール] をクリックします。
7. 機器名をダブルクリックし、設定項目を展開します。必要に応じて、ユーザーコードや通常使うプリンター、共有プリンターを設定します。
8. [完了] をクリックします。
インストールを開始します。
9. [プリンタードライバーの導入] ダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。

10. [オプション構成] タブで機器のオプション構成や用紙を設定します。

インストール後でもオプション構成や用紙の設定はできます。詳しくは、P.31 「オプション構成や用紙の設定をする」を参照してください。

11. 設定が完了したら、[OK] をクリックします。

12. インストールが完了したら、[完了] をクリックします。

[再起動の確認] ダイアログが表示された場合は、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windows を再起動してください。

2

13. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

ネットワーク接続環境でプリンタードライバーをインストールする

★ 重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

↓ 補足

- ドライバーのインストール中に、[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行] または [OK] をクリックします。
- ドライバーのインストール中に、[Windows セキュリティ] ダイアログが表示されたときは、[このドライバー ソフトウェアをインストールします] をクリックします。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、P.51 「インストールに失敗したとき」を参照してください。

ポートを指定してインストールする

ポートを指定してプリンタードライバーをインストールします。ご使用になるポートでのインストール方法をお読みください。

★ 重要

- Network Monitor for Client ポートを使用するには Network Monitor for Client が必要です。Network Monitor for Client をご利用の場合は、販売店にご確認ください。

ポートの種類	ドライバーの種類	参照先
Standard TCP/IP ポート	[RPCS] [RP-GL/2] [PS3]	P.15 「Standard TCP/IP ポートを使用する」
IPP ポート	[RPCS] [RP-GL/2] [PS3]	P.16 「IPP ポートを使用する」
LPR ポート	[RPCS] [RP-GL/2] [PS3]	P.18 「LPR ポートを使用する」
WSD ポート	[RPCS] [RP-GL/2] [PS3]	P.19 「WSD ポートを使用する」
Network Monitor for Client ポート	[RPCS] [RP-GL/2] [PS3]	P.21 「Network Monitor for Client ポートを使用する」

Standard TCP/IP ポートを使用する

[RPCS] [RP-GL/2] [PS3]

- この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。

2

2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。

3. インストール実行ボタンをクリックします。

RPCS、RP-GL/2 ドライバーは [プリンタードライバー] をクリックします。

PostScript 3 ドライバーは、[プリンタードライバー (オプション)] をクリックし、目的のドライバーをクリックします。

4. [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

5. お使いの機器のチェックボックスにチェックを付けます。

6. お使いの機器の機器名をダブルクリックし、設定項目を展開します。

7. [ポート:] を選択し、['ポート'の設定の変更] にある [追加] をクリックします。

8. 「Standard TCP/IP Port」を選択し、[OK] をクリックします。

「Standard TCP/IP Port」が表示されない場合は、Windows のヘルプを参照して Standard TCP/IP ポートを設定します。

9. 「標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザード」の開始画面で、[次へ] をクリックします。

10. [プリンターナー名または IP アドレス] ボックスに機器名または本機のアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

11. 「標準 TCP/IP プリンターポートの追加ウィザード」の完了画面で、[完了] をクリックします。

12. [ポート:] に選択したポートが表示されていることを確認します。

13. 必要に応じて、ユーザーコードや通常使うプリンター、共有プリンターを設定します。

14. [完了] をクリックします。

インストールを開始します。

15. インストールが完了したら、パソコンを再起動させるタイミングを選択し、[完了] をクリックします。

IPP ポートを使用する

RPCS RP-GL/2 PS3

 **重要**

- IPP-SSL 経由で印刷を行う場合は、Network Monitor for Client ポートをお使いください。
- Windows Vista/7 または Windows Server 2008/2008 R2 をお使いの場合で、IPP-SSL 経由で印刷を行う場合は、IPP ポートでプリンタードライバーをインストールする前に、パソコンに機器の証明書をインストールしてください。詳細は『セキュリティーガイド』を参照してください。

2

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. [スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
3. [プリンターの追加] をクリックします。
4. [ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します] を選択し、[次へ] をクリックします。
5. [探しているプリンターはこの一覧にはありません] をクリックします。
6. [共有プリンターを名前で選択する] を選択し、ボックスに「http:// (本機の IP アドレス) /printer」または「http:// (本機の IP アドレス) /ipp」と入力します。
7. [次へ] をクリックします。
8. [ディスク使用...] をクリックします。
9. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[閉じる] をクリックします。

10. [参照] をクリックし、ドライバーの収録先を指定します。

ここではドライバーの INF ファイルを指定します。

CD-ROM ドライブが D: の場合、以下のフォルダーに収録されています。

- RPCS
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPCS\XP_VISTA\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPCS\X64\DISK1
- RP-GL/2
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPGL2\XP_VISTA\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPGL2\X64\DISK1
- PostScript 3
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\PS\XP_VISTA\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\PS\X64\DISK1

11. [OK] をクリックします。

12. [プリンタの追加ウィザード] でインストールするプリンタードライバーを選択し、[OK] をクリックします。
13. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定し、[次へ] をクリックします。
14. インストールが完了したら、パソコンを再起動させるタイミングを選択し、[完了] をクリックします。

2

LPR ポートを使用する

RPCS RP-GL/2 PS3

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。
3. インストール実行ボタンをクリックします。
RPCS、RP-GL/2 ドライバーは [プリンタードライバー] をクリックします。
PostScript 3 ドライバーは、[プリンタードライバー (オプション)] をクリックし、目的のドライバーをクリックします。
4. [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
5. お使いの機器のチェックボックスにチェックを付けます。
6. お使いの機器の機器名をダブルクリックし、設定項目を展開します。
7. [ポート:] を選択し、['ポート'の設定の変更] にある [追加] をクリックします。
8. 「LPR Port」を選択し、[OK] をクリックします。
「LPR Port」が表示されない場合は、Windows のヘルプを参照して LPR ポートを設定します。
9. [LPD を提供しているサーバーの名前またはアドレス:] ボックスに、本機の IP アドレスを入力します。
10. [サーバーのプリンターナー名または印刷キュー:] ボックスに「Ip」と入力し、[OK] をクリックします。
11. [ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。
12. 必要に応じて、ユーザーコードや通常使うプリンター、共有を設定します。

13. [完了] をクリックします。

インストールを開始します。

14. インストールが完了したら、パソコンを再起動させるタイミングを選択し、[完了] をクリックします。

WSD ポートを使用する

2

[RPCS](#) [RP-GL2](#) [PS3](#)

★ 重要

- WSD ポートは、Windows Vista/7、Windows Server 2008/2008 R2 で使用できます。
- 本機とコンピューターが異なるネットワークセグメントに接続されている場合や、Windows の「ネットワーク探索」が無効になっているときは、本機を検出できません。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

Windows Vista、Windows Server 2008 の場合

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. [スタート] ボタンをクリックし、[ネットワーク] をクリックします。
[ネットワーク] ウィンドウが表示され、機器の検索が自動的に始まります。
3. 本機のプリンターアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [インストール] をクリックします。
4. [ドライバーソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。
5. [オンラインで検索しません] をクリックします。

お使いの OS によっては、この操作が必要ない場合があります。その場合は、次の手順に進みます。

6. [コンピュータを参照してドライバーソフトウェアを検索します (上級)] をクリックします。
7. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[閉じる] をクリックします。
8. [参照] をクリックし、ドライバーの収録先を指定します。

ここではドライバーの INF ファイルを指定します。

CD-ROM ドライブが D:¥の場合、以下のフォルダーに収録されています。

- RPCS
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPCS\XP_VISTA\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPCS\X64\DISK1

- RP-GL/2
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPGL2\XP_VISTA\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPGL2\X64\DISK1
- PostScript 3
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\PS\XP_VISTA\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\PS\X64\DISK1

2

9. [次へ] をクリックします。

10. [閉じる] をクリックします。

11. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。

インストールが正常に終了すると、「WSD」から始まるポートを [印刷するポート] に指定したプリンターが [デバイスとプリンター] ウィンドウに作成されます。

 **補足**

- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。再度インストールを行う場合は、[ネットワーク] ウィンドウで本機のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [アンインストール] を実行してください。

Windows 7、Windows Server 2008 R2 の場合

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. [スタート] メニューから [コンピューター] をクリックします。
3. [ネットワーク] をクリックします。
[ネットワーク] ウィンドウが表示され、機器の検索が自動的に始まります。
4. 本機のプリンターアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [インストール] をクリックします。
[デバイスドライバーソフトウェアは正しくインストールされませんでした] と表示された場合は、メッセージを閉じて次の手順に進みます。
5. [スタート] メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。
6. [プリンターの追加] をクリックします。
7. [ローカルプリンターを追加します] をクリックします。
8. [既存のポートを使用:] が選択されていることを確認し、WSD ポートを選択します。
9. [次へ] をクリックします。
10. [ディスク使用...] をクリックします。

11. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

[自動再生] ダイアログが表示されたら、[閉じる] をクリックします。

12. [参照] をクリックし、ドライバーの収録先を指定します。

ここではドライバーの INF ファイルを指定します。

CD-ROM ドライブが D:\ の場合、以下のフォルダーに収録されています。

- RPCS

32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPCS\XP_VISTA\DISK1

64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPCS\X64\DISK1

- RP-GL/2

32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPGL2\XP_VISTA\DISK1

64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPGL2\X64\DISK1

- PostScript 3

32bit 版 D:\X86\DRIVERS\PS\XP_VISTA\DISK1

64bit 版 D:\X64\DRIVERS\PS\X64\DISK1

13. [OK] をクリックします。**14. お使いの機器を選択し、[次へ] をクリックします。****15. 画面の指示に従ってインストールを続行してください。****16. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。**

インストールが正常に終了すると、「WSD」から始まるポートを [印刷するポート] に指定したプリンターが [デバイスとプリンター] ウィンドウに作成されます。

↓ 補足

- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。再度インストールを行う場合は、[ネットワーク] ウィンドウで本機のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [アンインストール] を実行してください。

Network Monitor for Client ポートを使用する

RPCS RP-GL/2 PS3

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。**2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**

[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。

3. インストール実行ボタンをクリックします。

RPCS、RP-GL/2 ドライバーは [プリンタードライバー] をクリックします。

PostScript 3 ドライバーは、[プリンタードライバー (オプション)] をクリックし、目的のドライバーをクリックします。

4. [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

5. お使いの機器のチェックボックスにチェックを付けます。

6. お使いの機器の機器名をダブルクリックし、設定項目を展開します。

7. [ポート:] を選択し、['ポート'の設定の変更] にある [追加] をクリックします。

8. 「Network Monitor for Client」を選択し、[OK] をクリックします。

9. TCP/IP を使用して設定するときは、[プロトコル選択] から [TCP/IP] を選択し、[機器検索] をクリックします。

TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

IPP を使用して設定するときは、手順 11 に進みます。

10. 本機を選択し、[OK] をクリックします。

コンピューターからのブロードキャストに応答したプリンターだけが表示されます。表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックします。本機の IP アドレスまたはホスト名を直接入力し、[OK] をクリックします。

設定後、手順 15 に進みます。

11. IPP を使用して設定するときは、[プロトコル選択] から [IPP] を選択します。

12. [プリンタの URL] に「http:// (本機の IP アドレス) /printer」または「http:// (本機の IP アドレス) /ipp」を入力します。

SSL (暗号化通信) の設定を有効にしている場合、「https:// (本機のアドレス) / printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンに Internet Explorer がインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer6.0 以降を推奨します。

13. 必要に応じて [IPP ポート名] に機器を区別するための名前を入力します。すでにある他の IPP ポート名と違う名前を入力してください。

14. プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、[詳細設定] をクリックし、必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。

詳しい設定項目については、Network Monitor for Client のヘルプを参照してください。

15. [OK] をクリックします。

16. [ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。
17. 必要に応じて、ユーザーコードや通常使うプリンター、共有設定を行います。
18. [完了] をクリックします。
インストールを開始します。
19. インストールが完了したら、パソコンを再起動させるタイミングを選択し、[完了] をクリックします。

Network Monitor for Client ポートの設定を変更する

TCP/IP のタイムアウト、代行印刷や並行印刷、プリンターグループなど、Network Monitor for Client の設定を変更できます。ここでは Windows 7 を例に説明します。

1. [スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 印刷するプリンターのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プリンターのプロパティ] をクリックします。
3. [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。

補足

- 印刷通知、代行印刷 / 並行印刷の設定は拡張機能設定で行います。設定は Network Monitor for Client ポートで TCP/IP の場合に有効となります。拡張機能設定を行うには、Network Monitor for Client が起動している状態でタスクトレイの Network Monitor for Client アイコンを右クリックします。[プロパティ] をポイントし、表示されたメニューから [拡張機能設定] を選択してください。
- [代行印刷 / 並行印刷] はポート毎に設定できます。設定を行うには、Network Monitor for Client が起動している状態でタスクトレイの Network Monitor for Client アイコンを右クリックします。[プロパティ] をポイントし、表示されたメニューから [拡張機能設定] を選択して [代行 / 並行印刷をポート毎に設定する] にチェックを付けます。
- IPP の場合、IPP ユーザー設定、プロキシ設定、タイムアウト設定ができます。
- 設定方法については、Network Monitor for Client のヘルプを参照してください。

Windows プリントサーバーを使用する

★ 重要

- プリンタードライバーをインストールする前に、プリントサーバーを正しく設定してください。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「プリントサーバーの準備」を参照してください。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。

2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。

3. インストール実行ボタンをクリックします。

RPCS、RP-GL/2 ドライバーは [プリンタードライバー] をクリックします。

PostScript 3 ドライバーは、[プリンタードライバー (オプション)] をクリックし、目的のドライバーをクリックします。

4. [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。

5. お使いの機器のチェックボックスにチェックを付けます。

6. お使いの機器の機器名をダブルクリックし、設定項目を展開します。

7. [ポート:] を選択し、['ポート'の設定の変更] にある [追加] をクリックします。

8. [ネットワークプリンター] を選択し、[OK] をクリックします。

9. ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。

10. インストールするプリンタードライバーを選択し、[OK] をクリックします。

[ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

11. 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

12. 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

13. [完了] をクリックします。

14. [プリンタードライバーの導入] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

15. [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

 **補足**

- Network Monitor for Client ポートで本機を接続しているネットワークプリンターをご使用の場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷できません。
- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2/2008 の共有プリンターの場合、クライアントに印刷通知が行われない場合があります。

ローカル接続環境でプリンタードライバーをインストールする

ローカル接続には USB 接続とパラレル接続、Bluetooth 接続があります。

補足

- ドライバーのインストール中に、[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行] または [OK] をクリックします。
- ドライバーのインストール中に、[Windows セキュリティ] ダイアログが表示されたときは、[このドライバー ソフトウェアをインストールします] をクリックします。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合は、P.51「インストールに失敗したとき」を参照してください。

2

USB で接続する

本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、プリンタードライバーをインストールする方法について説明します。

重要

- USB 接続でインストールを行う場合、管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

Windows XP, Windows Server 2003/2003 R2

USB ケーブルを初めて使用した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示され、「USB 印刷サポート」が自動的にインストールされます。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。
3. [新しいハードウェアの検出ウィザード] で [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] をチェックし、[次へ] をクリックします。
4. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
CD-ROM のオートランプログラムが起動した場合は、[キャンセル] をクリックします。
5. [次の場所で最適のドライバを検索する] の [次の場所を含める] をチェックし、[参照] をクリックしてドライバーの収録先を指定します。
ここではドライバーの INF ファイルを指定します。

CD-ROM ドライブが D: の場合、以下のフォルダーに収録されています。

- RPCS
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPCS\XP_VISTA\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPCS\X64\DISK1
- RP-GL/2
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPGL2\XP_VISTA\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPGL2\X64\DISK1
- PostScript 3
 - 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\PS\XP_VISTA\DISK1
 - 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\PS\X64\DISK1

2

6. [次へ] をクリックします。

ドライバーのインストールが開始されます。

7. [完了] をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USBxxx」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [プリンタと FAX] ウィンドウに作成されます。

Windows Vista、Windows Server 2008

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
 2. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。
 3. [ドライバーソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。
 4. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
 5. 使用するプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。
インストールを開始します。
 6. [閉じる] をクリックします。
- インストールが正常に終了すると、「USBxxx」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [プリンタ] ウィンドウに作成されます。

Windows 7

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

3. [スタート] ボタンをクリックし、[デバイスとプリンター] をクリックします。
4. [未指定] で、インストールしたいプリンターのアイコンをダブルクリックします。
5. プリンタードライバーのプロパティ画面で、[ハードウェア] タブをクリックします。
6. インストールしたいプリンターの名前を選択し、[プロパティ] をクリックします。
7. [設定の変更] をクリックします。
8. [ドライバー] タブをクリックします。
9. CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[閉じる] をクリックします。
10. [ドライバーの更新...] をクリックします。
11. [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します] をクリックします。
12. [参照...] をクリックして、ドライバーの収録先を指定します。
ここではドライバーの INF ファイルを指定します。
CD-ROM ドライブが D:\ の場合、以下のフォルダーに収録されています。
 - RPCS
32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPCS\XP_VISTA\DISK1
64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPCS\X64\DISK1
 - RP-GL/2
32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPGL2\XP_VISTA\DISK1
64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPGL2\X64\DISK1
 - PostScript 3
32bit 版 D:\X86\DRIVERS\PS\XP_VISTA\DISK1
64bit 版 D:\X64\DRIVERS\PS\X64\DISK1
13. [次へ] をクリックします。
インストールを開始します。
14. [閉じる] をクリックします。
インストールが正常に終了すると、「USBxxx」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [デバイスとプリンター] ウィンドウに作成されます。

パラレルで接続する

パラレル接続でのドライバーのインストール方法について説明します。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。
3. インストール実行ボタンをクリックします。
RPCS、RP-GL/2 ドライバーは [プリンタードライバー] をクリックします。
PostScript 3 ドライバーは、[プリンタードライバー (オプション)] をクリックし、目的のドライバーをクリックします。
4. [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。
5. お使いの機器のチェックボックスにチェックを付けます。
6. お使いの機器の機器名をダブルクリックし、機器の設定を開きます。
7. [ポート:] をクリックします。
8. ['ポート'の設定の変更] のドロップダウンリストから、「LPT1:」を選択します。
9. 必要に応じて、ユーザーコードや通常使うプリンター、共有プリンターを設定します。
10. [完了] をクリックします。
インストールを開始します。
11. インストールが完了したら、パソコンを再起動させるタイミングを選択し、[完了] をクリックします。

Bluetooth で接続する

Bluetooth 接続でのドライバーのインストール方法について説明します。

対応プロファイル

以下の Bluetooth profile に対応しています。

- SPP (Serial Port Profile)
- HCRP (Hardcopy Cable Replacement Profile)

- BIP (Basic Imaging Profile)

SPP、HCRP 制約事項

- Bluetooth インターフェースで同時に接続できる Bluetooth デバイスは、SPP 接続で 1 台、HCRP 接続で 1 台の合計 2 台です。
- 複数の Bluetooth アダプターや、Bluetooth 内蔵のパソコンで接続する場合、最初に接続を確立した機器が有効となります。その他の機器が接続する場合、最初に接続を確立した機器が接続を解除する必要があります。
- SPP 接続の場合、双方向通信には対応していません。
- HCRP 接続の場合、双方向通信に対応しています。

BIP 制約事項

- BIP で接続するには、本機に PS3 カードが装着されている必要があります。
- BIP 接続では同時に複数接続はできません。複数の Bluetooth デバイスから印刷する場合は、1 台ずつ行ってください。
- BIP 接続で印刷できるフォーマットは JPEG です。
- BIP 接続ではユーザーコードが無効になります。
- 本機に印刷制限が設定されている場合、BIP 接続では印刷することができません。
- 本機に課金用印刷の設定がされている場合、BIP 接続による印刷の課金ログを得できません。

ここでは、HCRP で印刷する方法について説明します。SPP、BIP で印刷する方法については、お使いの Bluetooth アダプターに付属のマニュアルまたは Microsoft のホームページを参照してください。

Bluetooth プリンターを追加する

★ 重要

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- Bluetooth デバイスが装着されていないパソコンでは、Bluetooth プリンターの追加はできません。お使いのパソコンに Bluetooth デバイスが装着されていることをあらかじめご確認ください。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. [スタート] メニューから [デバイスとプリンター] ウィンドウを開きます。
3. [プリンターの追加] をクリックします。
4. [ローカルプリンターを追加します] をクリックします。
5. [新しいポートの作成:] をクリックします。

6. 「ポートの種類：」で Bluetooth デバイスのポートを選択し、[次へ] をクリックします。

7. Bluetooth デバイスの一覧からお使いの機器を選択し、[接続] または [OK] をクリックします。

8. CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

2

[自動再生] ダイアログが表示されたら、[閉じる] をクリックします。

9. [ディスク使用...] をクリックします。

10. [参照...] をクリックして、ドライバーの収録先を指定します。

ここではドライバーの INF ファイルを指定します。

CD-ROM ドライブが D:\ の場合、以下のフォルダーに収録されています。

- RPCS

32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPCS\XP_VISTA\DISK1

64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPCS\X64\DISK1

- RP-GL/2

32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPGL2\XP_VISTA\DISK1

64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPGL2\X64\DISK1

- PostScript 3

32bit 版 D:\X86\DRIVERS\PS\XP_VISTA\DISK1

64bit 版 D:\X64\DRIVERS\PS\X64\DISK1

11. [OK] をクリックします。

12. [次へ] をクリックします。

13. 画面の指示にしたがってインストールを続行してください。

14. インストールが完了したらすべてのウィンドウを閉じ、CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブから取り出します。



- 補足
- 使用環境やインストール方法は、Bluetooth デバイスや Bluetooth 内蔵のパソコンに準じます。詳細はお使いの Bluetooth デバイスや Bluetooth 内蔵のパソコンに付属のマニュアルを参照してください。

オプション構成や用紙の設定をする

パソコンと本機の間で双方向通信が働いていると、本機に装着されているオプション、セットされている用紙サイズや本機の状態を、パソコン側で自動的に取得できます。

双方向通信が働いていない場合は、手動で本機に装着されているオプションや、セットされている用紙の情報をパソコンで設定します。

双方向通信を有効にする

双方向通信を有効にするには、下記の設定、条件が必要です。

ネットワーク接続の場合

- 以下のポートのいずれかを使用している。
 - Standard TCP/IP ポート
 - Network Monitor for Client ポートの TCP/IP プロトコル
 - Network Monitor for Client ポートの IPP プロトコル (IPP ポート名に IP アドレスを含んでいる)
- プリンタードライバーのプロパティ画面で、[ポート] タブにある [双方向サポートを有効にする] にチェックが入っていて、[プリンタプールを有効にする] にチェックが入っていない

ローカル接続の場合

- パソコンが双方向通信に対応している
- 本機とパソコンが双方向通信に対応したインターフェースケーブルか、USB インターフェースケーブルで接続されている
- プリンタードライバーのプロパティ画面で、[ポート] タブにある [双方向サポートを有効にする] にチェックが入っている

手動でオプション構成や用紙を設定する

手動で本機に装着されているオプションや、セットされている用紙の情報をパソコンで設定する方法について説明します。

★ 重要

- Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。

RPCS、PostScript 3 プリンタードライバー

1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :

[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。

- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 :

[スタート] ボタンから [プリンタと FAX] をクリックします。

- Windows Vista、Windows Server 2008 :

[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。

2. プリンターのプロパティを開きます。

- Windows XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008

プリンターのアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

- Windows 7、Windows Server 2008 R2

プリンターのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

オプション設定を促すダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。

3. [オプション構成] タブをクリックします。

4. [オプション選択] グループで、取り付けたオプションのボックスにチェックを付けます。

5. [給紙トレイ設定の変更] をクリックします。

6. 紙トレイの設定を変更します。

- RPCS ドライバーの場合 :

給紙トレイごとに用紙のサイズ、種類、セット方向、自動給紙トレイ選択の対象/対象外を設定し、[トレイ/サイズ設定の変更] をクリックします。

- PostScript 3 ドライバーの場合 :

給紙トレイごとに用紙サイズを設定し、[トレイ/サイズ設定の変更] をクリックします。

7. [適用] をクリックします。

8. [OK] をクリックし、プロパティを閉じます。

RP-GL/2 プリンタードライバー

1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :

[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。

- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 :

[スタート] ボタンから [プリンタと FAX] をクリックします。

- Windows Vista、Windows Server 2008 :

[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。

2. プリンターの印刷設定を開きます。

- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 :

プリンターのアイコンをクリックし、[ファイル] メニューから [印刷設定] をクリックします。

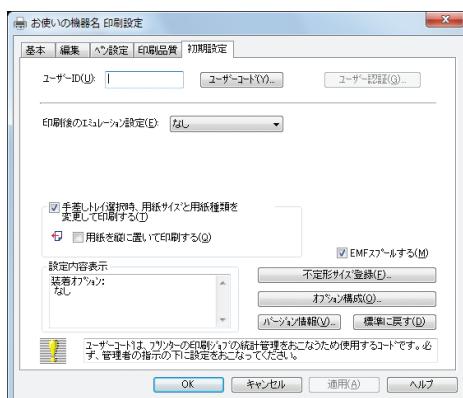
- Windows Vista/7、Windows Server 2008/2008 R2 :

プリンターのアイコンを右クリックし、[印刷設定] をクリックします。

2

3. [初期設定] タブの [オプション構成] をクリックします。

プリンタードライバーの設定画面を表示し、[初期設定] タブの表示画面で [オプション構成] から [オプション構成] ダイアログが表示されないときは、双方向通信が働いています。オプションセットアップは必要ありません。



4. [デバイスセットアップ] ボックスで、取り付けたオプションを追加します。

5. [OK] をクリックし、[オプション構成] ダイアログを閉じます。

6. [OK] をクリックし、印刷設定を閉じます。

補足

- 設定項目の機能については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

PageMaker 用 PPD ファイルをインストールする

2

PageMaker 用 PPD ファイルは、PostScript 3 ドライバー用の設定ファイルです。

PageMaker で作成した書類を PostScript で出力するには、本機に適合した PPD ファイルが必要です。PPD ファイルは付属の CD-ROM に収録されています。

CD-ROM 内の「¥X86¥DRIVERS¥PS¥PM6J」フォルダーにある PPD ファイルを、PageMaker がインストールされているフォルダー内の [PPD4] フォルダーにコピーしてください。PPD ファイルは、機種に適合したものをお使いください。

- PageMaker6.0J の場合：
「PM6¥RSRC¥PPD4」内にコピーします。
- PageMaker6.5J の場合：
「PM6.5¥RSRC¥JAPANESE¥PPD4」内にコピーします。
- PageMaker7.0J の場合：
「PM7¥RSRC¥JAPANESE¥PPD4」内にコピーします。

PageMaker 用 PPD ファイルを選択する

1. PageMaker を開きます。
2. [ファイル] メニューから [プリント] をクリックします。
3. [プリンタ] ボックスでお使いの機種の PostScript 3 ドライバーを選択します。



4. [形式] ボックスでお使いの機種を選択します。



5. [プリンタ特性] をクリックします。

6. お使いの機種の機能を設定します。

ここで設定は、ドライバーの設定より優先されます。

7. その他必要な設定を行い、[印刷] をクリックします。

HDI ドライバーをインストールする

ここでは、Windows 7 を例として説明しています。Windows XP/Vista, Windows Server 2003/2003 R2/2008/2008 R2 でも基本的な操作は同じです。

★ 重要

2

- HDI ドライバーをインストールするには、あらかじめ AutoCAD シリーズがインストールされている必要があります。
- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ドライバーのインストール中に、[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行] または [OK] をクリックします。詳細は Microsoft のホームページを参照してください。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. [スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。
3. [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
4. [Autodesk プロッタ管理] をダブルクリックします。
[Autodesk プロッタ管理] は AutoCAD シリーズがインストールされているときに表示されます。
5. [プロッタを追加ウィザード] をダブルクリックします。
6. [次へ] をクリックします。
7. [次へ] をクリックします。
8. [マイコンピュータ] を選択し、[次へ] をクリックします。
9. [ディスクを所有...] をクリックします。
10. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[閉じる] をクリックします。
11. お使いの AutoCAD バージョンに応じたプリンタードライバーを選択し、[開く] をクリックします。
CD-ROM ドライブが D:\ のとき、各プリンタードライバーは以下のフォルダに収録されています。
 - AutoCAD 2004、AutoCAD LT 2004、AutoCAD 2005、AutoCAD LT 2005、AutoCAD 2006、AutoCAD LT 2006
D:\X86\DRIVERS\HDI\AC2004
 - AutoCAD 2007、AutoCAD LT 2007
D:\X86\DRIVERS\HDI\AC2007

- AutoCAD 2008、AutoCAD LT 2008(32bit OS のみ対応)、AutoCAD 2009、AutoCAD LT 2009(32bit OS のみ対応)

32-bit OS D:\X86\DRIVERS\HDI\AC2008\X86

64-bit OS D:\X86\DRIVERS\HDI\AC2008\X64

- AutoCAD 2010、AutoCAD LT 2010

32-bit OS D:\X86\DRIVERS\HDI\AC2010\X86

64-bit OS D:\X86\DRIVERS\HDI\AC2010\X64

- AutoCAD 2011、AutoCAD LT 2011、AutoCAD 2012、AutoCAD LT 2012

32-bit OS D:\X86\DRIVERS\HDI\AC2011\X86

64-bit OS D:\X86\DRIVERS\HDI\AC2011\X64

インストールするドライバーとお使いの AutoCAD のバージョンが一致しているか確認してください。一致していないときはエラーメッセージが表示されます。その場合は、HDI ドライバーの「Readme」ファイルを参照してください。

12. [製造元] でお使いの機種の製造元を、[モデル] でお使いの機種名を選択し、[次へ] をクリックします。

13. [プロッタを追加ウィザード] にしたがって、インストールを完了してください。

プリンタードライバーの各画面の説明や、いろいろな印刷方法については、オンラインヘルプを参照してください。オンラインヘルプを表示させるには、プリンタードライバーの設定画面の [ヘルプ] ボタンをクリックします。

↓ 補足

- インストールの途中で AutoCAD のバージョンと異なるバージョンのドライバーを指定した場合、インストール作業が終了していなくても、正しいバージョンのドライバーをインストールできない場合があります。この場合は異なるバージョンのドライバーを削除してください。削除方法については、HDI ドライバーの「Readme」ファイルを参照してください。

2. プリンタードライバーをインストールする

2

3. スキャナードライバーをインストールする

TWAIN ドライバーのインストールについて説明します。

TWAIN ドライバーをインストールする

TWAIN スキャナーを使用するには、付属の CD-ROM に収録されてる TWAIN ドライバーがクライアントコンピューターにインストールされている必要があります。

3

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。
3. [TWAIN ドライバー (スキャナードライバー)] をクリックします。
4. TWAIN ドライバーのインストーラーが起動します。メッセージにしたがって操作してください。
5. インストールが完了したときに、クライアントコンピューターを再起動するように指示するメッセージが表示されることがあります。この場合は、クライアントコンピューターを再起動してから操作を続けてください。

↓ 補足

- インストールが終わると、[スタート] メニューの [プログラム] または [すべてのプログラム] にお使いの機器名のフォルダーが作成され、ここからヘルプを表示できます。
- 「Readme.txt」には、TWAIN スキャナーを使う上での注意事項などが書かれていますので、使用する前に必ずお読みください。

TWAIN 対応アプリケーションをインストールする

TWAIN スキャナーを利用するには、TWAIN 対応アプリケーションがクライアントコンピューターにインストールされている必要があります。

3. スキャナードライバーをインストールする

3

4. FAX ドライバーをインストールする

PC FAX ドライバーのインストールについて説明します。

PC FAX ドライバーをインストールする

PC FAX ドライバーはパソコンからのファクス送信に必要なドライバーです。インストールすると、あて先表編集ツールおよび PC FAX 送付状エディターも同時にインストールされます。



- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ご使用の OS が Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合、IPv6 の環境では Standard TCP/IP ポートは使用できません。IPv6 の環境で使用する場合は、Network Monitor for Client ポートを使用してください。

4

誤送信を防止する機能を有効にする

誤って送信先を入力したときでも、そのまま送信されないようにする防止機能は以下のとおりです。これらを有効にするには、ドライバーをインストールする前に、設定ファイルを編集します。

- 送信先のファクス番号を繰り返し再入力させる
- 送信前に送信先が間違っていないかもう一度確認させる
- 入力ミスをしやすい直接入力を禁止し、あて先表から送信先を指定させる

詳しくは、P.44 「誤送信を防止する機能を有効にする」 を参照してください。

プリンタードライバーと同じポートを指定する

「既にポートが使用されています」のエラーメッセージが表示され、PC FAX ドライバーがインストールできないことがあります。既にプリンタードライバーがインストール済みの場合は、PC FAX ドライバーとプリンタードライバーのポートを合わせてください。

詳しくは、P.41 「プリンタードライバーと同じポートを指定する」 を参照してください。

プリンタードライバーと同じポートを指定する

- この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。

- 2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[SETUP.EXE の実行] をクリックします。
- 3. [PC FAX ドライバー] をクリックします。**
- 4. [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は [同意します] を選択し、[次へ] をクリックします。**
- 5. [プリンターナンバー : <PC FAX TG4>] をダブルクリックし、設定項目を展開します。**
- 6. [ポート:] をクリックします。**
- 7. ['ポート'の設定の変更] のドロップダウンリストから、プリンタードライバーと同じポートを選択します。**
- 8. [完了] をクリックします。**
インストールを開始します。
- 9. インストールが完了したら、パソコンを再起動させるタイミングを選択し、[完了] をクリックします。**

ポートを指定して PC FAX ドライバーをインストールする

プリンタードライバーとは異なるポートを指定して、PC FAX ドライバーをインストールする場合は、プリンタードライバーのインストール方法を参照してください。

一部操作や説明が異なる部分は、PC FAX ドライバー用に読み替えていただき、ドライバーをインストールしてください。

インストール方法の参照先	該当する読み替え対象
P.15 「Standard TCP/IP ポートを使用する」	1、2、4
P.16 「IPP ポートを使用する」	3
P.18 「LPR ポートを使用する」	1、2、4
P.19 「WSD ポートを使用する」	3
P.21 「Network Monitor for Client ポートを使用する」	1、2、4

読み替え対象リスト

読み替え対象	プリンタードライバーの操作/説明	PC FAX ドライバーの操作/説明
1: インストーラーの実行ボタン名	[プリンタードライバー] または [プリンタードライバー (オプション)]	[PC FAX ドライバー]

読み替え対象	プリンタードライバーの操作/説明	PC FAX ドライバーの操作/説明
2：[プリンタードライバーの導入] ダイアログでの操作	<ul style="list-style-type: none"> お使いの機器のチェックボックスにチェックを付けます。 お使いの機器の機器名をダブルクリックし、設定項目を開します。 	<ul style="list-style-type: none"> [プリンター名：<PC FAX TG4>] をダブルクリックし、設定項目を開します。
3：ドライバーの収録先	プリンタードライバーの収録先を記載しています。	<p>PC FAX ドライバーの収録先は以下になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 32bit 版 X86¥DRIVERS¥PCFAX ¥XP_VISTA¥DISK1 64bit 版 X64¥DRIVERS¥PCFAX ¥X64¥DISK1
4：ユーザーコードの設定の有無	設定できます。	設定できません。

誤送信を防止する機能を有効にする

誤送信を防止する機能を有効には、PC FAX ドライバーをインストールする前に、設定ファイルを編集する必要があります。ここでは、設定ファイルの編集と、編集したあの PC FAX ドライバーのインストール方法について説明します。

設定ファイルを編集する

4

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
[自動再生] ダイアログが表示されたら、[キャンセル] をクリックします。
3. 付属の CD-ROM からパソコンのハードディスクへ、PC FAX ドライバーのデータをコピーします。

CD-ROM ドライブが D: の場合、以下のフォルダーをコピーします。お使いの環境に合わせ、32/64bit 版のどちらかをお選びください。デスクトップやパスに 2 バイト文字が含まれるような場所にはコピーしないでください。

- 32bit 版 D:\X86\DRIVERS\PCFAX
- 64bit 版 D:\X64\DRIVERS\PCFAX

4. コピーしたデータから、「IfxShLnk.ini」ファイルをテキストエディタで開きます。

5. 防止機能を有効にする項目を編集します。

編集対象は [FlagValues] 内の以下 3 項目です。

- ConfirmFAXNo

書式 : ConfirmFAXNo=0/1/2/3/4/5/6/7/8/9/10

説明 : 直接あて先の再入力を求めるダイアログが表示されます。再入力を求める回数 (0~10) を設定します。

有効設定例 : ConfirmFAXNo=1

- ConfirmAddress

書式 : ConfirmAddress=ON/OFF

説明 : ON に設定すると、送信先確認ダイアログが表示されます。

有効設定 : ConfirmAddress=ON

- ProhibitDirectAddress

書式 : ProhibitDirectAddress=ON/OFF

説明 : ON に設定すると、直接あて先指定ができなくなります。

有効設定 : ProhibitDirectAddress=ON

6. 編集した設定ファイルを保存します。

[プリンターの追加] で PC FAX ドライバーをインストールする

設定ファイルの編集をしたあとに、PC FAX ドライバーをインストールします。

1. プリンターフォルダーを開きます。
2. [プリンターの追加] をクリックします。
3. [ローカルプリンターを追加します] をクリックします。
4. ポートを指定します。
 - プリンタードライバーとポートを合わせる場合：
 1. [既存のポートを使用] をクリックします。
 2. [既存のポートを使用] リストから、プリンタードライバーと同じポートを選択します。
 3. [次へ] をクリックします。
 - 新しい Standard TCP/IP ポートを指定する場合：
 1. [新しいポートの作成] をクリックします。
 2. [ポートの種類] リストから [Standard TCP/IP Port] を選択します。
 3. [次へ] をクリックします。
 4. [ホスト名または IP アドレス] ボックスに、機器のホスト名または IP アドレスを入力します。
 5. [次へ] をクリックします。
5. お使いの機器を選択し、[次へ] をクリックします。
6. 必要に応じてドライバーナー名を変更し、[次へ] をクリックします。
インストールを開始します。
7. 必要に応じて共有プリンター、通常使うプリンターとするかを設定します。
8. [完了] をクリックします。

PC FAX ドライバーのプロパティを設定する

↓ 補足

- 管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- PC FAX ドライバーを選択する方法は、お使いの OS により異なる場合があります。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

印刷設定をする

4

送信する原稿のサイズや画質などを設定します。

1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows 7、Windows Server 2008 R2：
[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2：
[スタート] ボタンから [プリンタと FAX] をクリックします。
- Windows Vista、Windows Server 2008/2008 R2：
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。

2. 「PC FAX TG4」の印刷設定を開きます。

- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2：
「PC FAX TG4」アイコンをクリックし、[ファイル] メニューから [印刷設定] をクリックします。
- Windows Vista/7、Windows Server 2008/2008 R2：
「PC FAX TG4」アイコンを右クリックし、[印刷設定] をクリックします。

3. 必要に応じて印刷設定を変更します。



4

- 用紙サイズ
 - 印刷方向
 - 紙トレイ
 - 解像度
- 微細字（400×400dpi）は、FAXメモリーが必要です。

4. [OK] をクリックします。

オプション構成を設定する

1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows 7、Windows Server 2008 R2：
[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2：
[スタート] ボタンから [プリンタとFAX] をクリックします。
- Windows Vista、Windows Server 2008/2008 R2：
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。

2. 「PC FAX TG4」のプロパティを開きます。

- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2：
「PC FAX TG4」アイコンをクリックし、[ファイル] メニューから [プロパティ] をクリックします。
- Windows Vista/7、Windows Server 2008/2008 R2：

「PC FAX TG4」アイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

- 3. [オプション構成] タブをクリックします。**
- 4. 本機に接続されているオプションの項目にチェックマークを付けます。**
- 5. [適用] をクリックします。**
- 6. [OK] をクリックします。**

オプション構成画面について

4

オプション構成画面には、オプション構成以外に下記のような項目の設定が含まれています。



- メールを使用する

PC ファクスでインターネットファクスを利用するときは、「メールを使用する」のチェックボックスにチェックマークを付けます。

- IP-ファックス

IP-ファクスを利用するときは、「IP-ファックスを使用する」のチェックボックスにチェックマークを付け、有効なプロトコルのラジオボタンをクリックします。

補足

- 本機に装着しているオプションと異なる設定をすると、正常に機能しないことがあります。
- 本機をネットワーク接続しているときは、パソコンに Network Monitor for Client がインストールされていると自動的にオプション構成を取得します。設定が本機のオプション構成と異なっているときは、[機器情報を取得] をクリックします。

- 誤送信を防止する機能として、宛先を直接指定できない設定でドライバーをインストールした場合、オプション構成画面に「直接あて先指定禁止」の設定項目が変更不可（グレーダウン）の状態で表示されます。

5. 困ったときは

ドライバーが正しくインストールできない、USB 接続がうまくいかないときの対処について説明します。

インストールに失敗したとき

ドライバーのインストールに失敗やエラーメッセージが表示されたときの対処方法について説明します。

おすすめインストールに失敗したときは、以下を参照して再度インストールを行ってください。

- 本機をネットワーク接続で使用している場合：

P.15 「Standard TCP/IP ポートを使用する」

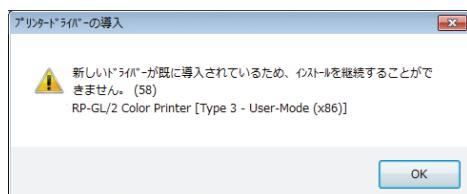
- 本機をパラレル接続で使用している場合：

P.28 「パラレルで接続する」

5

また、下記のような (58) のメッセージ、または (34) のメッセージが表示されたときは、オートランプログラムによるインストールはできません。[プリンターの追加] または [プリンタのインストール] でインストールしてください。

(58) のメッセージは、インストールされているプリンタードライバよりも、古いバージョンのプリンタードライバーをインストールしようとしたときに表示されます。



1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows 7、Windows Server 2008 R2：

[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。

- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2：

[スタート] ボタンから [プリンタと FAX] をクリックします。

- Windows Vista、Windows Server 2008：

[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。

2. [プリンターの追加] または [プリンタのインストール] をクリックします。

3. 画面の指示に従ってインストールを進めます。

ドライバーの INF ファイルは、以下のフォルダーに収録されています。(CD-ROM ドライブが D:¥の場合)

- RPCS

32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPCS\XP_VISTA\DISK1

64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPCS\X64\DISK1

- RP-GL/2

32bit 版 D:\X86\DRIVERS\RPGL2\XP_VISTA\DISK1

64bit 版 D:\X64\DRIVERS\RPGL2\X64\DISK1

- PostScript 3

32bit 版 D:\X86\DRIVERS\PS\XP_VISTA\DISK1

64bit 版 D:\X64\DRIVERS\PS\X64\DISK1

5

↓ 補足

- Windows Server 2008 R2 の場合は、Windows 64bit 版プリンタードライバーをインストールしてください。

USB 接続がうまくいかないとき

USB 接続がうまくいかないときの対処方法について説明します。

状態	原因	対処方法と参照先
本機が自動認識されない。	USB ケーブルの接続に問題があります。	パソコン側の USB ケーブルを抜き、本機の主電源をいったん「Stand by」にしたあとに「On」にします。本機が起動したのを確認してから USB ケーブルを接続してください。
Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまった。	不正なデバイスとして認識していないか、確認してください。	Windows のデバイスマネージャで、不正なデバイスを削除してください。不正なデバイスは、アイコンに黄色の「!」がついたり、黄色の「?」がついたりしています。必要なデバイスを削除しないよう注意してください。 Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 をお使いのときは、デバイスマネージャの「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」に不正なデバイスが表示されます。また、Windows Vista/7、Windows Server 2008/2008 R2 をお使いのときは、デバイスマネージャの「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」に不正なデバイスが表示されます。
USB ケーブルを挿しても本機が認識しない。	本機の電源が切れているときは、USB ケーブルを接続しても本機が認識しないことがあります。	パソコン側の USB ケーブルを抜き、本機の主電源をいったん「Stand by」にしたあとに「On」にします。本機が起動したのを確認してから USB ケーブルを接続してください。

5. 困ったときは

6. Mac OS X にプリンタードライバーをインストールする

本機に同梱の CD-ROM から、PPD ファイルをインストールします。

インストール後は、プリンター固有の機能を使用するための設定を行います。プリンタードライバーは、OS に付属のプリンタードライバーを使用するため、インストールする必要はありません。

PPD ファイルをインストールする

Mac OS X で印刷するときに、プリンター固有の機能を使用するために PPD ファイルをインストールします。



- PPD ファイルをインストールするときは、管理者としてログインすることが必要です。

1. この使用説明書以外のアプリケーションを終了します。
2. 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
3. CD-ROM の [Mac OS X] フォルダーをダブルクリックします。
4. [MacOSX PPD Installer] フォルダーをダブルクリックします。
5. お使いの OS に応じてフォルダーをダブルクリックします。

お使いの OS が Mac OS X 10.2.x～10.4.x の場合は、[MacOSX 10.2 or later] フォルダーをダブルクリックします。

お使いの OS が Mac OS X 10.5.x～10.7.x の場合は、[MacOSX 10.5 or later] フォルダーをダブルクリックします。

6. [MacOSX PPD Installer] フォルダーをダブルクリックします。
7. [PPD Installer] アイコンをダブルクリックします。
インストールの確認画面が表示された場合は、[続ける] をクリックします。
8. 「はじめに」が表示されたら [続ける] をクリックします。
9. 「使用許諾契約」が表示されたら、内容をよく読み、[続ける] をクリックします。
10. [同意する] または [同意します] をクリックします。
[同意しない] または [同意しません] をクリックすると、インストールを行わずに終了します。

11. インストール先が表示されたときは、インストール先を選択して、[続ける] をクリックします。



PPD ファイルは以下の場所に自動的にインストールされています。

- Mac OS X 10.2.x～10.4.x の場合
/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/ja.lproj/
- Mac OS X 10.5.x～10.7.x の場合
/ライブラリ/Printers/PPDs/Contents/Resources/

6

12. [インストール] をクリックします。

13. 認証画面が表示されたら、名前とパスワードを入力して、[OK] をクリックします。

14. インストールが完了したら、[閉じる] をクリックします。

プリンターを登録する

機器を使用するには、機器をプリントリストに登録する必要があります。

電源を入れた機器とコンピュータを接続した状態で以降の作業を行ってください。

★ 重要

- PS3 カードが本機に増設されている必要があります。
- USB2.0 は Mac OS X 10.3.3 以上に対応しています。

↓ 補足

- ネットワーク接続、USB 接続では、機器とパソコンがあらかじめケーブルで接続されている必要があります。
- プリントリストに多数のプリンタードライバーを組み込んでいると、すべての PPD ファイルが表示されない場合があります。
- お使いの機器が複合機の場合、工場出荷時の AppleTalk は無効に設定されています。AppleTalk を使用する場合は、操作部または Web Image Monitor、telnet などから、AppleTalk を有効に設定してください。設定方法については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「インターフェース設定」を参照してください。
- Rendezvous や Bonjour で接続する場合、エミュレーションが自動では切り替わりません。本機の操作部から、「エミュレーション検知」を「する」に設定するか、エミュレーションを「PS3」に切り替えてから印刷してください。エミュレーションの切り替えについては、『RP-GL/2&RTIFF』「エミュレーションを切り替える」を参照してください。
- Mac OS X の操作方法は使用している OS のバージョンによって多少異なります。本書の説明内容を参考に、それぞれのマニュアルを参照して設定してください。

Mac OS X 10.2.x～10.3.x

1. プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティを起動します。
2. [追加] をクリックします。
3. ポップアップメニューから接続の種類を選択します。

機器との接続の種類に応じて、以下の項目を選択します。

USB 接続：「USB」

ネットワーク接続（AppleTalk）：「AppleTalk」

ネットワーク接続（Rendezvous）：「ディレクトリサービス」もしくは「Rendezvous」

4. 検出された機器の一覧から、お使いの機器を選択します。

5. [プリンタの機種:] でお使いの機器の PPD ファイルを選択します。

PPD ファイルが自動的に選択されない場合は、[(機器の製造元)] か [その他] を選択し、手動で PPD ファイルを指定します。PPD ファイルの格納先は、P.55 「PPD ファイルをインストールする」を参照してください。

6. [追加] をクリックします。

ドライバーのセットアップ中に [構成] をクリックすると、オプション構成を設定できます。詳しくは、P.60 「オプション構成を設定する」を参照してください。

7. プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティを終了します。

Mac OS X 10.4.x～10.7.x

1. システム環境設定を起動します。

2. [プリントとファクス] または [プリントとスキャン] をクリックします。

3. 「+」ボタンをクリックします。

6

4. [デフォルトブラウザ] または [デフォルト] をクリックします。

5. 検出された機器の一覧から、お使いの機器を選択します。

「種類」または「接続」の項目で、機器との接続の種類 (USB、AppleTalk、Bonjour) が確認できます。

6. [ドライバ:] または [使用するドライバ:] でお使いの機器の PPD ファイルを選択します。

PPD ファイルが自動的に選択されない場合は、[使用するドライバを選択…] か [(機器の製造元)] を選択し、手動で PPD ファイルを指定します。PPD ファイルの格納先は、P.55 「PPD ファイルをインストールする」を参照してください。

7. [追加] をクリックします。

ドライバーのセットアップ中に [構成] をクリックすると、オプション構成を設定できます。詳しくは、P.60 「オプション構成を設定する」を参照してください。

8. システム環境設定を終了します。

AppleTalk を有効にする

AppleTalk 環境で本機を使用する場合、Mac OS X および本機の AppleTalk を有効にします。

★ 重要

- 一般ユーザーの場合、ゾーンの変更にはユーザー名とパスワードが必要です。管理者にお問い合わせください。

↓ 補足

- 本機の AppleTalk プロトコルの設定方法については、『ネットワークの接続/システム 初期設定』「インターフェース設定」を参照してください。
- Mac OS X 10.6.x、10.7.x は AppleTalk に対応していません。

1. システム環境設定を開きます。
2. [ネットワーク] アイコンをクリックします。
3. AppleTalk が使用できる環境を選択し、[設定] または [詳細] をクリックします。
4. [AppleTalk] タブをクリックします。
5. [AppleTalk] 使用または [AppleTalk を有効にする] のチェックボックスにチェックを付けます。
6. ゾーンを変更する場合は、[AppleTalk ゾーン:] ポップアップメニューから使用するゾーンの名前を選択します。
7. 設定が完了したら [今すぐ適用] または [OK] をクリックします。
Mac OS X 10.5.x の場合は、次に [適用] をクリックします。
8. すべてのウィンドウを閉じます。

オプション構成を設定する

Mac OS X 10.2.x～10.3.x

1. プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティを起動します。
2. 機器の一覧からお使いの機器を選択し、[プリンター] メニューから [情報を見る] をクリックします。
3. ポップアップメニューから [インストール可能なオプション] を選択します。
4. 必要に応じてオプションの構成を変更します。
5. [変更と適用] をクリックします。
6. [プリンタ情報] ダイアログを閉じます。
7. プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティを終了します。

Mac OS X 10.4.x

6

1. システム環境設定を起動します。
2. [プリントとファクス] をクリックします。
3. 機器の一覧からお使いの機器を選択し、[プリンタ設定…] をクリックします。
4. ポップアップメニューから [インストール可能なオプション] を選択します。
5. 必要に応じてオプションの構成を変更します。
6. [変更と適用] をクリックします。
7. [プリンタ情報] ダイアログを閉じます。
8. システム環境設定を終了します。

Mac OS X 10.5.x～10.7.x

1. システム環境設定を起動します。
2. [プリントとファクス] または [プリントとスキャン] をクリックします。
3. 機器の一覧からお使いの機器を選択し、[オプションとサプライ…] をクリックします。
4. [ドライバ] をクリックします。
5. 必要に応じてオプションの構成を変更します。
6. [OK] をクリックします。
7. システム環境設定を終了します。

 **補足**

- インストール可能なオプションが表示されないときは、PPD ファイルが正しく設定されていません。[プリント情報] ダイアログの中に表示される、PPD ファイル名を確認してください。

6. Mac OS X にプリンタードライバーをインストールする

6

7. 付録

ドライバーの更新と削除について説明します。

ドライバーを更新・削除する

★ 重要

- ドライバーを更新、削除するときは管理者権限が必要です。Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ドライバーを更新するときは、お使いのドライバーと同じ機器・種類のドライバーを選択してください。異なる機器・種類のドライバーを選択し、更新するとエラーの原因になります。

↓ 補足

- ドライバーの更新や削除するときに、[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたときは、[続行] または [OK] をクリックします。
- ドライバーの更新や削除するときに、[Windows セキュリティ] ダイアログが表示されたときは、[このドライバーソフトウェアをインストールします] をクリックします。
- 最新のドライバーは、販売店にご確認ください。

7

ドライバーを更新する

プリンタードライバーを更新する

1. プリンターウィンドウを開きます。

- Windows 7、Windows Server 2008 R2：
[スタート] ボタンから [デバイスとプリンター] をクリックします。
- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2：
[スタート] ボタンから [プリンタと FAX] をクリックします。
- Windows Vista、Windows Server 2008：
[スタート] ボタンから [コントロールパネル] をクリックします。[ハードウェアとサウンド] のカテゴリーの中から、[プリンタ] をクリックします。

2. ドライバーのプロパティを開きます。

- Windows XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2/2008：
更新するドライバーのアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

- Windows 7、Windows Server 2008 R2 :

更新するドライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] をクリックします。

3. [詳細設定] タブをクリックします。
4. [新しいドライバ...] をクリックし、[次へ] をクリックします。
5. [ディスク使用...] をクリックします。
6. [参照...] をクリックし、更新するドライバーの収録先を指定します。
7. [OK] をクリックします。
8. お使いの機器を選択し、[次へ] をクリックします。
9. [完了] をクリックします。
10. ドライバー更新を開始します。
11. [適用] をクリックします。
12. [OK] をクリックして、プロパティを閉じます。

PPD ファイル (Mac OS X)、TWAIN ドライバーを更新する

7

PPD ファイルや TWAIN ドライバーを更新するときは、旧バージョンのドライバーを削除してから、最新の PPD ファイル、TWAIN ドライバーをインストールしてください。削除については、P.64 「ドライバーを削除する」を参照してください。

ドライバーを削除する

プリンタードライバーを削除する

Windows 7、Windows Server 2008 R2

1. [スタート] メニューから [デバイスとプリンター] をクリックします。
2. 削除するドライバーのアイコンを右クリックし、[デバイスの削除] をクリックします。
3. 確認ダイアログが表示されたら [はい] をクリックします。
4. 適当なアイコンをクリックし、[プリントサーバープロパティ] をクリックします。
5. [ドライバー] タブをクリックします。
6. [ドライバー設定の変更] をクリックします。

7. 削除するドライバーを選択し、[削除...] をクリックします。
8. [ドライバーとパッケージを削除する] を選択し、[OK] をクリックします。
9. 確認ダイアログが表示されたら [はい] をクリックします。
10. [削除] をクリックします。
11. [OK] をクリックします。
12. [閉じる] をクリックしてプロパティを閉じます。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2

1. [スタート] メニューから [プリンタと FAX] をクリックします。
2. 削除するドライバーのアイコンを右クリックし、[削除] をクリックします。
3. [ファイル] メニューから、[サーバーのプロパティ] をクリックします。
4. [ドライバ] タブをクリックします。
5. 削除するドライバーを選択し、[削除] をクリックします。
6. 確認ダイアログが表示されたら [はい] をクリックします。
7. [閉じる] をクリックしてプロパティを閉じます。

Windows Vista、Windows Server 2008

7

1. [スタート] メニューから [コントロールパネル]、[プリンタ] をクリックします。
2. 削除するドライバーのアイコンを右クリックし、[削除] をクリックします。
3. プリンターウィンドウのエリア内で右クリックし、[管理者として実行] をポイントし、[サーバーのプロパティ] をクリックします。
4. 削除したいドライバーを選択し、[削除] をクリックします。
5. [ドライバとドライバパッケージを削除する] を選択し、[OK] をクリックします。
6. 確認ダイアログが表示されたら 「はい」 をクリックします。
7. [削除] をクリックします。
8. [OK] をクリックします。
9. [閉じる] をクリックしてプロパティを閉じます。

PPD ファイルを削除する (Mac OS X)

Mac OS X 10.2.x～10.3.x

1. プリントセンターまたはプリンタ設定ユーティリティを起動します。
2. 削除する機器を選択し、[削除]をクリックします。

Mac OS X 10.4.x～10.7.x

1. システム環境設定を起動します。
2. [プリントとファクス] または [プリントとスキャン] をクリックします。
3. 削除する機器を選択し、「-」ボタンをクリックします。

TWAIN ドライバーを削除する

1. アンインストーラーを起動します。

- Windows 7、Windows Server 2008 R2：
[スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックし、[プログラムのアンインストール] をクリックします。
- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2：
[スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックし、[プログラムの追加と削除] をクリックします。
- Windows Vista、Windows Server 2008：
[スタート] メニューから [コントロールパネル] をクリックし、[プログラム] カテゴリーから [プログラムのアンインストール] をクリックします。

2. TWAIN ドライバーを削除します。

- Windows Vista/7、Windows Server 2008/2008 R2：
 1. 「WIDE Scanner for (モデル名)」を選択します。
 2. 右クリックし、[アンインストールと変更] または [アンインストール] をクリックします。
- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2：
 1. 「WIDE Scanner for (モデル名)」を選択します。
 2. [削除] をクリックします。

3. 画面の指示に従い削除を実行します。

4. アンインストーラーを閉じます。

商標

RPCS、RP-GL/2、RTIFF は株式会社リコーの商標または登録商標です。

PostScript 3 は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

AppleTalk、および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

AutoCAD、AutoCAD LT は、米国および／またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。

Bluetooth 商標は、Bluetooth SIG, Inc. 所有の商標であり、ライセンスの下で株式会社リコーが使用しています。

Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Windows Vista®は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

- Windows XP の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® XP Professional Edition

Microsoft® Windows® XP Home Edition

Microsoft® Windows® XP Media Center Edition

Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition

- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Vista® Ultimate

Microsoft® Windows Vista® Business

Microsoft® Windows Vista® Home Premium

Microsoft® Windows Vista® Home Basic

Microsoft® Windows Vista® Enterprise

- Windows 7 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows® 7 Home Premium

Microsoft® Windows® 7 Professional

Microsoft® Windows® 7 Ultimate

Microsoft® Windows® 7 Enterprise

- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition

- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition

Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition

- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2008 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise

- Windows Server 2008 R2 の製品名は以下のとおりです。

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard

Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

索引

アルファベット

Bluetooth	28
FAX ドライバー	41
HDI ドライバー	5, 36
IPP ポート	16
LPR ポート	18
Mac OS X でお使いの方へ	9
Network Monitor for Client ポート	21, 23
PC FAX	7, 41, 46
PostScript 3	5
PPD ファイル (Mac OS X)	55
PPD ファイル (PageMaker)	34
RP-GL/2	5
RPCS	5
Standard TCP/IP ポート	15
TWAIN	7, 39
TWAIN 対応アプリケーション	39
USB 接続	25, 53
WSD ポート	19

あ

印刷ポート	11
インストーラー	3
おすすめインストール	13
オプション構成の設定 (PC FAX)	47
オプション構成の設定 (プリンタードライバー)	31, 60

か

誤送信を防止する	44
----------	----

さ

収録ソフトウェア	5
手動でインストール (PC FAX)	45
商標	67
スキャナードライバー	39
接続方法の確認	11
設定ファイルの編集	44
双方向通信	31

た

対応プロファイル	28
ドライバーの更新	63
ドライバーの削除	63, 64

トラブルシューティング (USB 接続) ... 53

な

ネットワーク接続 ... 11, 15

は

パラレル接続 ... 28
プリンタードライバー ... 5, 15, 25
プリンターの登録 ... 57
プリントサーバー ... 12, 23
プロパティの設定 (プリンタードライバー) ... 31
ポートの指定 ... 15

や

用紙の設定 ... 31

ら

ローカル接続 ... 12, 25

MEMO

MEMO

MEMO

